

第2学年学級活動（1）学習指導案

特別活動研究室

1 議題 「お芋パーティーについて話し合おう」

2 議題選定までの経過

○ これまでに子どもたちは、生活科の学習で校区探検を行い、校区の人々とのかかわりを深めている。また、校区にある畑で芋の苗植えをしたり、草取りをしたりしている。芋を収穫した際には、楽しい集会所がしたいと考えている。子どもたちは、芋の苗の植え方や芋の苗と雑草の違いなど、地域の方から教わっている。その中で、芋苗の準備や日々の水やりなどのお世話を校区の方がしてくださっていることを気づいている。そこで、本議題は学級目標「えがおのあふれるクラス」の達成に近づくために、「集会所がしたい」「芋づくりでお世話になった方々にお礼がしたい」と発議され、「お芋パーティーをしよう」と議題化されたものである。「お芋パーティー」のプログラムの中に、感謝の気持ちを伝えるために、お世話になった方々へのお礼の時間を設ける。お話しになった方々に感謝の気持ちを伝えることで、自分達は地域の人々に見守られているという気持ちをもつことができ、また、地域の方々とさらに連携ができるようになる。さらに、地域の方々とお芋パーティーをすることで、食べることの喜びや楽しさを感じ、食事を通じた人間形成能力を身につけるうえからも、本議題は重要な意義をもつものとする。

○ 本学級は1学期に6回の学級会を経験している。児童会からおりてきた議題だけではなく、教師や子どもから出た議題についても話し合った（「係」「学級園の取組」「1学期のお楽しみ集会所」）。選択型・統合型の話し合いの経験をしている。学級会の経験がない子どもが多かったが、経験をくり返すことにより、学級会の進め方は理解し始めている。また、考えをもち、発表する姿が少しずつ見られるようになっていくが、場面を考えて発言したり自分の考えにこだわりをもったりする姿は少ない。

食に関するアンケートを実施し、「給食は好きですか」という質問に対して90%以上の子どもが「大好き」「好き」と答えおり、理由の一位が「好きな物が食べれるから」である。「みんなと食べる」「先生と食べる」という人間関係が内容になっている理由の人数は少ない。また、給食の完食率は低い。さらに、朝ご飯に関しては、食べないことが多い子どもが数名で固定化している。本活動を通して、食材やお世話になっている人々への感謝し、残さずに食べる子どもを増やし、給食の完食率を上げたい。また、「みんなと食べるのが楽しい」という気持ちをもたせたい。

○ 本活動にあたっては、事前ではお世話になった方々への調査活動を行い、その内容を帰りの会をつかって、それぞれのクラスに伝える。そして、お礼のしかたをについてアンケートをとり、「お礼の手紙を書く」という一番多い意見は決定し、2年生みんなでありがとうの気持ちをつたえることができる「歌を歌う」ことについて、話し合うことを計画委員会で決定した。そして、提案者を募り、学級会に向けて、自分の考えを伝える話し方の工夫や資料の作成を行わせる。

時中では、芋の苗植えや草取りは学年で活動しており、お芋パーティーも学年で取り組むことから学年学級会で話し合いをする。学級間での交流活動があり、クラスの学級会よりも多くの意見が出ると考える。お礼の歌の歌詞について意見を交流しながら、よりよいものを作り上げる「付加・修正」の話し合いを学年で行う。最後に、お世話になった方々からのメッセージを伝え、お芋パーティーを楽しみにしていることを知って意欲を高める。

事後では、各係で準備を進め、お世話になった方々を招待し、お芋パーティーをする。パーティー当日は、一人一人の活躍を認め、準備までのがんばりを賞賛し、「学年全員の力で成功させた」という達成感をもたせる。お芋パーティーの後に振り返る活動を行うことで満足感を味わわせ、友達のいいところに気づかせたい。さらに、活動の記録を掲示しておくことで、次回の学級活動への意欲を持たせたい。

3 目標

- お世話になった方々へのお礼を計画・実行することで達成感や満足感をもち、学年の友達や地域の方々の大切さに気づくことができる。 (興味・関心・意欲)
- 学級目標や提案理由、めあてと結びつけながら、よりよい考えを生み出すことができる。(思考・判断)
- 一人一人の創意工夫を生かしながら話し合い、自分の役割を果たして協力してお芋パーティーができる。(技能・表現)
- お礼の理由やお芋パーティーの計画の立て方、役割がわかる。(知識・理解)

4 食育の視点

- 芋づくりでお世話になった方に感謝の気持ちを伝える方法を考え、実践することができる。(感謝の心)
- 学年の友達やお世話になった方々と話しながら、お芋パーティーを楽しむことができる。(社会性)

5 活動計画

過程	学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 食育で目指す子どもの姿 (●)	日時
事前	(1) 地域の畑での芋の苗植えや草取りについて考え、お世話になった方々への思いをカードに書く。(全員)	○ 活動を振り返らせるために、芋の苗植えや草取りの写真を見せる。	9月7日 帰りの会
	(2) カードをもとに、議題を決定し、全員にお知らせする。(計画委員会)	○ お世話になった方へできることはないか問いかける。 ● 食育に関する議題を選ぶことができる。	9月20日 帰りの会
	(3) 地域の畑やお世話をしている方について調査活動を行い、調べたことを発表する。(調査をする人)	○ 畑を開放した理由やお世話している方の思いを調査させる。	10月2日 放課後
	(4) お芋パーティーのプログラムについて話し合う。(全員)	○ 1学期の集会のプログラムをもとに考えさせ、お礼の時間を設けるように助言する。 ● お世話になった方と交流するプログラムを考えることができる。	10月12日 学級会
	(5) どんなお礼のしかたがあるかアンケートをとる。(全員)	○ 1学期の集会での取組や前年度の給食週間で給食の先生への取組などを考えさせる。	10月12日 帰りの会
	(6) アンケートを整理し、提案理由や話し合いのめあて、話し合いの柱を決定する。(計画委員会)	○ 話し合う内容を確認する。	10月15日 中休み
	(7) アンケートをもとにグループをつくり、提案の準備をする。(提案者)	○ 学級目標とのつながりやその活動を行うよさについて考える。	10月16日 昼休み
	(8) 自分の考えを個人ノートに書く。(全員)	○ 提案理由やめあてにそって、考えさせる。 ● お世話になった方へのお礼のしかたについて考えることができる。	10月18日 朝の学級タイム
	(9) 学級会のリハーサルを行う。(計画委員会)	○ 一人ひとりの役割をはっきりさせる。	10月18日 昼休み

事中 (本時)	議題「お芋パーティーについて話し合おう。」(お礼の歌について付加・修正する)	○ 提案理由やめあてをもとに、原案の付加修正を行う。	10月19日 学級会
事後	(1) 役割分担をし、「お芋パーティー」の準備をする。 (2) お世話になった方を招待して、「お芋パーティー」を開く。 (3) 活動を振り返る。	○ 計画的に進められるように時間や場所を確保する。 ● 芋づくりでお世話になった方に感謝の気持ちを伝える方法を考え、実践することができる。 ● 学年の友達やお世話になった方々と話しながら、お芋パーティーを楽しむことができる。	10月下旬 ～11月上旬 学級活動 (1)

6 本時の目標

- 提案理由やめあてに沿って話し合いを進め、よりよいお礼のしかたを考えることができる。(思考・判断)
- 自分の考えわかりやすく説明したり、友達の考えのよさを認めたりできる。(技能・表現)

7 本時の展開 (平成19年10月19日(金) 5校時 於:多目的ホール)

学級活動	子どもの姿	指導上の留意点(○) 評価(●)
1. はじめの言葉	今から、第2回にこにこ2年学級会を始めます。礼。始めます。	○ 大きな声であいさつや紹介ができるようにリハーサルを行い、声かけをする。
2. 司会者の紹介	今日の司会者の紹介をします。 司会①の○○です。 司会②の○○です。 黒板記録の○○です。 黒板記録の○○です。	
3. 議題と提案理由の説明	今日の議題は「おいもパーティーについて話し合おうです」みなさん読んでください。さん、はいっ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">おいもパーティーについて話し合おう。</div> 提案理由を提案者の○○くん、○○くんに説明してもらいます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">1学期の終わりにお楽しみ会をして楽しかったので、おいもができたら、おいもパーティーをひらき、えがおのあふれる集会をしたい。そして、芋づくりで、お世話になった人々をおいもパーティーに招待して、2年生みんなでありがとうの気持ちを伝えたい。そうすれば、それぞれのクラスの学級目標に近づくとおもいます。</div>	○ 提案理由やめあての大事なところに線を引いて強調する。
4. 話し合いのめあての確認	今日の話し合いのめあては、 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">お世話になったの方々にありがとうの気持ちを伝えるために、みんなアイデアを出し合おう</div>	○ 議題、提案理由、めあてを事前に掲示し、あらかじめ全員に知らせておく。

<p>5. 先生の話</p>	<p>です。みなさん、読んでください。さん、はいっ。 お世話になった方々へのお礼の歌をさらによくするために、みんなでアイデアを出し合おう</p> <p>話し合いに入る前に、先生からお話があります。先生お願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの経緯 ・前時に話し合ったプログラム ・お世話になった方のビデオ <p>「こんにちは、〇〇です。先週、おいもパーティーのプログラムについて2年生で話し合ったことを先生から聞きました。今日もおいもパーティーをさらに楽しくするために、話し合いをするそうですね。楽しいおいもパーティーにむけて、みんなで協力して話し合ってください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いのポイント <p>「お世話になった方々へありがとうの気持ちを伝える」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経緯がわかるように、いままでの流れを掲示しておく。 ○ 相手意識をもって、話し合いに望めるように、お世話になった方のメッセージをビデオで見せる。 ○ 話し合いの視点を持たせるために、提案理由やめあてのポイントになるところを確認する。
<p>6. 話し合い</p>	<p>今日の話し合いのはしらは、お礼の歌についてです。では、話し合いに入ります。</p> <p>(提案タイム)</p> <p>まず始めに提案者から原案を提案してもらいます。提案者のみなさん、お願いします。</p> <p>わたしたちは、「世界中のこどもたちは」の替え歌を考えました。(途中まで歌う)</p> <p>最後の歌詞をありがとうの気持ちがつたわるようにみんなで考えていきましょう。</p> <p>みんなでお礼の歌を考えて歌えば、2年生みんなのありがとうの気持ちが伝わると思っています。これで、みんな、えがおまちがいなし！</p> <p>(質問タイム)</p> <p>友達が出したアイデアに質問はありませんか？</p> <p>(交流タイム)</p> <p>それでは、歌詞に入れたらいい言葉をいってください。理由も言ってください。</p> <p>「ありがとう」</p> <p>「いも」</p> <p>「お世話になったの人の名前」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前に歌詞を掲示し、歌詞にいれたらいい言葉を考える時間を設定する。また、学級会個人ノートに考えを書かせ、コメントをつけるなど賞賛し、発表への意欲を持たせる。さらに、短冊にかかせ、板書の準備をしておく。 ○ 事前に提案の準備をしておく。 ● 自分の考えをわかりやすく説明することができる。 ○ 子どもの意見を一覧表にまとめ、把握しておく。 ○ 考えがわかるように、短冊を考えごとに分けてはるように黒板記録と打ち合わせをする。

	<p>「みんなで食べよう」など</p> <p>(整理タイム)</p> <p>意見を整理していきます。</p> <p>「ありがとう」と同じ考えの人は手をあげてください。</p> <p>「お世話になった方々の名前」と同じ考えの人は手をあげてください。など</p> <p>(決定タイム)</p> <p>話し合いをまとめます。</p> <p>「ありがとう」「お世話になった方々の名前」などの言葉をつかって、替え歌を作ってもいいですか。</p>	<p>● お世話になった方へのお礼の方法を考えている。</p>
<p>7. 決まったことの確認</p>	<p>決まったことを黒板記録の〇〇さんに発表してもらいます。〇〇さん、お願いします。</p> <p>「ありがとう」「お世話になった方々の名前」などの言葉をつかって、替え歌を作ります。</p> <p>それでは、今から班で歌詞を考えてもらいます。時間は7分です。</p> <p>(できた班から何班か、発表してもらおう)</p>	<p>○ 黒板記録の子どもにはっきりと大きな声で言うようにリハーサルで声かけをしておく。</p> <p>○ 歌詞ができたら班で紙に書いてもらい、練習・発表させる</p>
<p>8. 話し合いの振り返り</p>	<p>今日の話し合いを振り返ってみましょう。今日の話し合いで、自分がかんばったこと、友達のよいところなどを書きましょう。時間は3分間です。(3分間)やめてください。</p> <p>では、発表してください。</p>	
<p>9. 先生の話</p>	<p>先生のお話です。先生、お願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもへの賞賛 議題を入れた子ども、提案グループ、司会グループ、フロアーの子ども ・お世話になった方のビデオ 「2年生のみなさん、お話し合いはがんばれましたか？早くおいもができるといいですね。おいもパーティーを楽しみにしています。」 	<p>○ 実践に向けて意欲を高めるために、お世話になった方の話をビデオで見せる。</p>
<p>10. 終わりの言葉</p>	<p>みなさん、ご協力ありがとうございました。</p> <p>これで、第2回にここ2年学級会をおわります。</p>	

8 評価

(1) 学級活動から

- お世話になった方々へのお礼を計画・実行することで達成感や満足感をもち、学年の友達や地域の方々の大切さに気づくことができたか。 (興味・関心・意欲)
- 学級目標や提案理由、めあてと結びつけながら、よりよい考えを生み出すことができたか。 (思考・判断)
- 一人一人の創意工夫を生かしながら話し合い、自分の役割を果たして協力してお芋パーティーができたか。 (技能・表現)
- お礼の理由やお芋パーティーの計画の立て方、役割がわかったか。 (知識・理解)

(2) 食育の視点から

- 芋づくりでお世話になった方に感謝の気持ちを伝える方法を考え、実践することができたか。 (感謝の心)
- 学年の友達やお世話になった方々と話しながら、お芋パーティーを楽しむことができたか。 (社会性)